

交通事故防止のための 5つの行動

『もしかして とまる みる まつ たしかめる』

① もしかして (危険予測)

もしかして、自動車・バイク・自転車・歩行者が来る（動き出す、急に方向を変えるなど）かもしれないという意識を持つ。



② とまる (一時停止)

道路を横断する時、交差点に差し掛かった時、まず止まる。



③ みる (安全確認)

前後、左右、まわりが安全かどうかを 自分の目でしっかり見る。



④ まつ (安全確保)

心・時間にゆとりを持ち、安全が確保されるまで、人や車が通過するのを待つ。



⑤ たしかめる (再確認)

安全に横断や通行ができるかどうか、もう一度よく確かめる。

保護者のみなさんへのお願い

※ 上記のことをふまえて

○ 大人がお手本を

子供は大人の行動をよく見ています。交通ルールやマナーを守り、良いお手本を見せるようにしましょう。

○ お子さんと一緒に通学路を歩く

通学路の危険か所を、『どこが、どのように危険か』子供の目線で具体的に教えてあげて下さい。

○ 道路で遊ばせない

ボール遊び、ジェイボードなど、道路で遊ぶことはとても危険です。お子さんの命を守るためにも、公園や広場で遊ばせましょう。